

Course number	U-LAS29 20026 SJ48				
Course title (and course title in English)	日本語概論 Introduction to Japanese Linguistics		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Liberal Arts and Sciences Professor, PALIHAWADANA Ruchira	
Group	Languages		Field(Classification)		
Language of instruction	Japanese		Old group		Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・Second semester
Days and periods	Thu.2		Target year	1st year students	Eligible students International students

[Overview and purpose of the course]

私たちは言語を媒体として言語外の様々な事象を把握する。故に、言語の仕組みや体系に対する理解は、その言語を通じた言外の事象の見方・捉え方を知る貴重な手がかりとなる。
この授業では、人称表現のタブー化、主語の省略、ウチ・ソトの区別、話し手視点による表現法といった日本語の諸特徴について考察しつつ、それらに対する理解力を育成することを目指す。更に、取り上げる項目に関する日本語学習者の誤用に着目することにより、日本語に対する理解の向上を図る。

[Course objectives]

日本語の様々な特徴に対する理解を深めると共に、履修者の母語との対比を通して、日本語の言語事象を分析する関心・能力を養うことを本授業の目的とする。

[Course schedule and contents]

以下の通りに進めていく予定であるが、履修者の興味や背景に応じて変更する場合もある。

- 第1回 履修ガイダンス・話し手中心の言語としての日本語
- 第2回 人称表現・タスク 母語との比較
- 第3回 格助詞の諸問題 補語と述語・課題
- 第4回 「は」と「が」 主題と主語・課題
- 第5回 ヴォイス 受け身と使役 ・課題
- 第6回 授受表現と視点・課題
- 第7回 複文 条件表現を中心に
- 第8回 言語における時間 テンス・アスペクト ・課題
- 第9回 認め方 否定表現を中心に ・課題
- 第10回 取り立て助詞 前提と影・課題
- 第11回 必然性と義務
- 第12回 ぼかし表現と含み・課題
- 第13回 評価と若者言葉・タスク
- 第14回 終助詞と情報構造・課題
- 《期末試験》
- 第15回 フィードバック

Continue to 日本語概論(2)

日本語概論(2)

[Course requirements]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

[Evaluation methods and policy]

以下の通りに評価する。

授業活動への参加度合：20%

タスク及び課題：40%

期末試験：40%

[Textbooks]

Not used

プリントを配付する。

[References, etc.]

(References, etc.)

松岡弘監修 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）

ISBN:4-88319-155-9（2000）

白川博之監修 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』（スリーエーネットワーク）

ISBN:4-88319-201-6（2001）

工藤浩他 『改訂版 日本語要説』（ひつじ書房）ISBN:978-4894764682（2009）

[Study outside of class (preparation and review)]

配布プリントを用いて各回の授業内容を復習すること。

[Other information (office hours, etc.)]

木曜日4限（14:30～16:15）をオフィスアワーとする。

研究室：旧石油化学教室本館棟105号室

E-mailアドレス：palihawadana.ruchira.8n@kyoto-u.ac.jp

[Essential courses]